



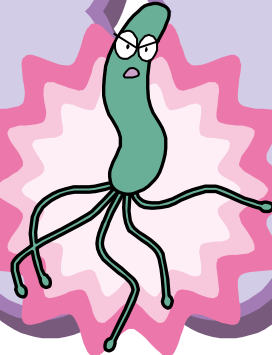
胃炎・胃潰瘍・胃がんの原因にもなる…

## “ピロリ菌”のお話

「慢性胃炎」や「胃潰瘍・十二指腸潰瘍」、さらには「胃がん」の原因の1つとも言われている『ピロリ菌』。ピロリ菌は感染しても自覚症状がないため、「自分は関係ない!」と思っている方も多いようです。しかし、7年前(2006年)に行われた調査では、日本人の**40代以上で約4割、50代以上ではなんと約7割**の人がピロリ菌に感染していたそうです。

### “ピロリ菌”って何?

ピロリ菌は“胃の粘膜に住みつく悪い細菌”で、一度感染してしまうと「除菌」しないかぎり住み続けます。ピロリ菌の大きさは4ミクロン(4/1000mm)程度、「ペン毛」と呼ばれる尻尾のようなものが4~8本付いていて、このペン毛を使って泳ぎながら胃の中を自由に動き回ります。ピロリ菌に感染すると、体は胃を守ろうと免疫反応を起こしますが、この免疫反応によって胃の粘膜に炎症が起ることによって、様々な胃の病気につながってしまうそうです。



### どのように広まっていた?

日本では、上下水道などの衛生環境がまだ整っていない時代に、井戸水や乳幼児への食べ物の口移しなどで感染した人がとても多かったようです。2006年の調査では、高齢者ほど感染率が高く、若い世代は低い傾向にありました。

おそらくこれは、衛生環境がまだ悪かった頃に、子ども時代を送った人たちが感染しているケースが多かったからでしょう。現代のように衛生環境がしっかり整った時代では、感染している人はとても少なくなっているそうです。

## 感染しているかどうかは“検査”を受ければ分かります

ご自分がピロリ菌に感染しているかどうかは気になる場所ですね。仮にピロリ菌に感染していても、ほとんど自覚症状はないため、健康に暮らしている方は多いようです。したがって、感染しているかどうかを調べるには「医療機関での検査」が必要になります。この検査は、過去に胃潰瘍や十二指腸潰瘍になったことのある方、再発をくり返している方は「健康保険」で受けることができます。また、胃の調子が悪い方、胃がん家系で心配な方は専門医に相談してみましょう。健康な人でも検診や人間ドックで検査を希望すれば、「自費」で受けることもできるそうです。

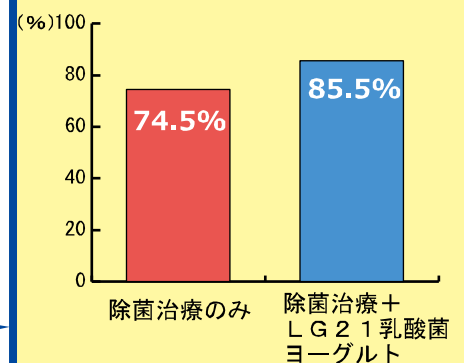


## もし、ピロリ菌が見つかったら…

ピロリ菌に感染していたら、除菌が必要かどうか専門医と相談することになります。除菌治療が必要と判断された場合は、医師の指示にしたがって治療を始めましょう。また、除菌治療と併用して『LG21乳酸菌入りのヨーグルト』を毎日食べると、除菌の成功率が高まるといったデータも出ているそうです。

一方に除菌治療の3週間前からLG21乳酸菌入りヨーグルト112gを1日2回食べてもらったところ、ヨーグルトを食べた方の除菌成功率が10%向上したそうです。

■ピロリ菌除菌成功率



“ピロリ菌”は胃の病気と深く関係していますが、感染していてもほとんど自覚症状がありません。もしピロリ菌のことが気になるようでしたら、一度「ピロリ菌検査」を受けてみて下さいね。